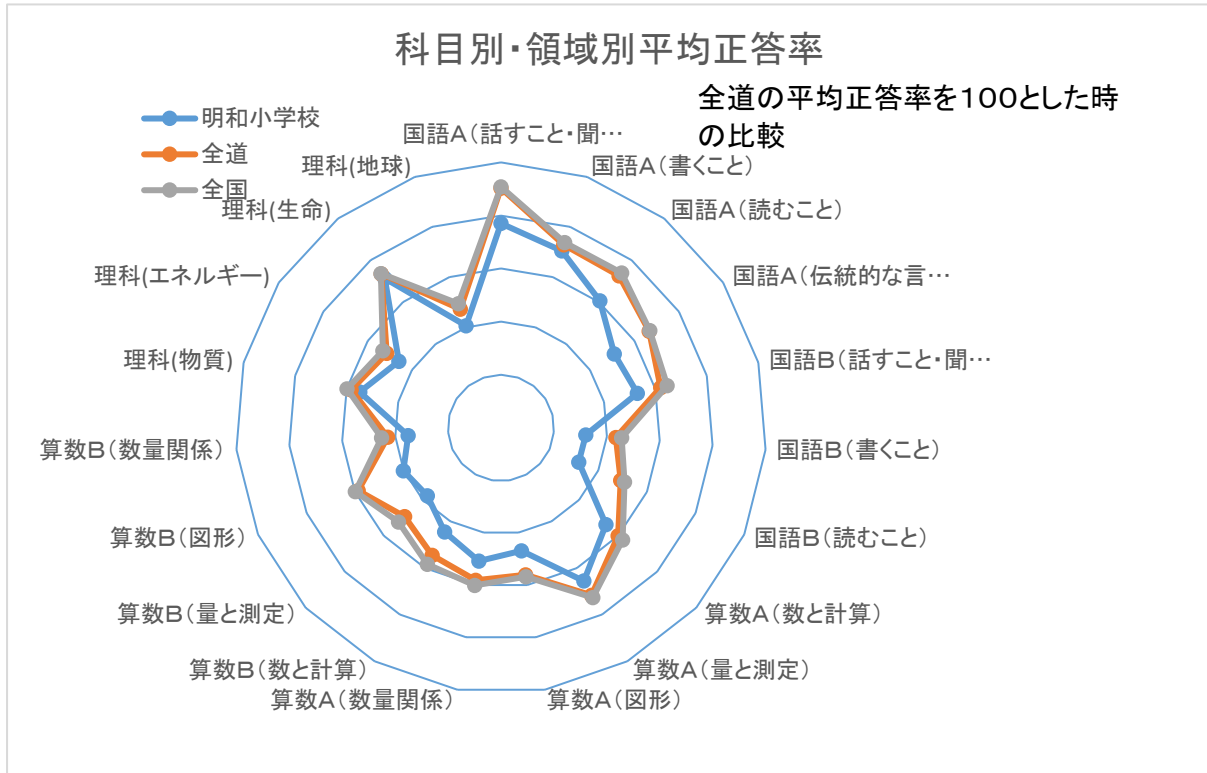


# 平成30年度全国学力・学習状況調査の結果について

帯広市立明和小学校学校

## 学力について

平成30年4月17日に実施された全国学力・学習状況調査の結果が公表され、本校の結果も届きました。平成19年度より行われている本調査は、国語と算数について、主に教科の知識に関するもの（A問題）と主に活用に関するもの（B問題）で調査しており、今年度は理科も調査対象となりました。今年度の明和小学校は、5科目とも全道平均を下回る結果となりました。



### 国語A（主として知識）

- ・「書くこと」の領域では、全道の平均正答率と同等の結果となっています。
- ・「話すこと」「聞くこと」「伝統的な言葉文化と国語の特質に関する事項」は、全道の平均正答率より下回っています。
- ・主語と述語の関係や漢字を書く問題に課題が見られました。漢字の問題では、無回答が多くなっています。

### 国語B（主として活用）

- ・全ての領域において、全道の平均正答率を下回っています。
- ・問題文を読み、〇〇字以内で答えを書く問題になると、無回答や誤答が多くなるという課題が見られました。

### 算数A（主として知識）

- ・単位量の問題や角の大きさなど、全道・全国平均正答率を上回る問題もありました。

### 算数B（主として活用）

- ・全ての領域において、全道の平均正答率を下回っています。「図形」「量と測定」に課題が見られました。

<ul style="list-style-type: none"> <li>• 全ての領域において、全道の平均正答率を下回っています。</li> <li>• 小数の除法や単位量を求める問題、円周率を求める問題に課題が見られました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 文章記述の問題に課題が見られました。</li> </ul>
<p>理科</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 主として、「知識」に関する問題は、全道の平均正答率と同等の結果となっています。「自然事象についての知識・理解」に関する問題は、全国・全道平均正答率を上回っています。</li> <li>• 「地球」の領域に課題が見られました。また、記述式の問題に課題が見られました。</li> </ul>	

## 学習状況について

- 生活習慣や規範意識が高い傾向が見られました。
- 新聞を読んだり、ニュースを見たりと社会への関心が全国よりも高い傾向が見られました。
- 毎日同じ時刻に寝ていると答える児童が多い傾向にあります。
- 与えられた宿題にはしっかりと取り組んでいる児童は多いですが、自主的・計画的な家庭学習への取組には課題が見られました。
- 「自分にはよいところがある」という自尊意識が低い傾向にあります。
- 毎朝朝食を食べている児童の割合や同じ時刻に起きている児童の割合がやや低い傾向にあります。

## そこで学校と家庭では・・・

### 学校では・・・

- ① 基礎・基本の確実な定着
  - 朝学習や家庭学習での漢字や計算の反復学習、学習時間に定着問題に取り組む時間を確保する。
  - 学習場面で、資料や問題文を読む体験を積み重ねていく。
  - 少人数指導や習熟別指導を効果的に活用する。
  - ICTの効果的な活用
  - チャレンジテストの活用
- ② 組織としての授業改善
  - 1時間の授業の流れの確実な定着（課題とまとめが明確な授業）
  - 各種調査結果の早期分析、改善プランへの反映
  - 校内研究の視点「ユニバーサルデザイン」を意識した授業づくり
- ③ 学習規律や学習習慣の定着
  - 学習規律の徹底と話し合いの仕方の指導
  - 家庭学習の取組推奨（手引き）と励まし

### 家庭では・・・

- ① 家庭学習や読書週間の育成・定着（家庭学習の手引きを活用）
  - 10分間×学年を目標に！
  - 時間帯を決めて毎日継続を！
- ② 生活習慣の改善
  - 「早寝・早起き・朝ご飯」
  - テレビやゲームの時間を減らし、家庭学習・読書・だんらんの時間に